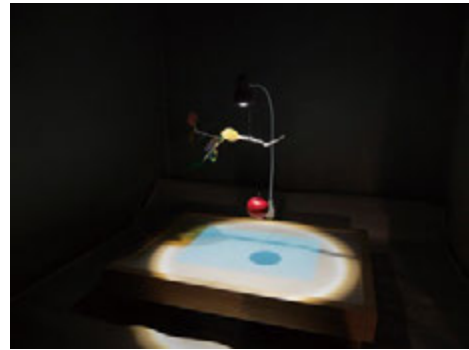
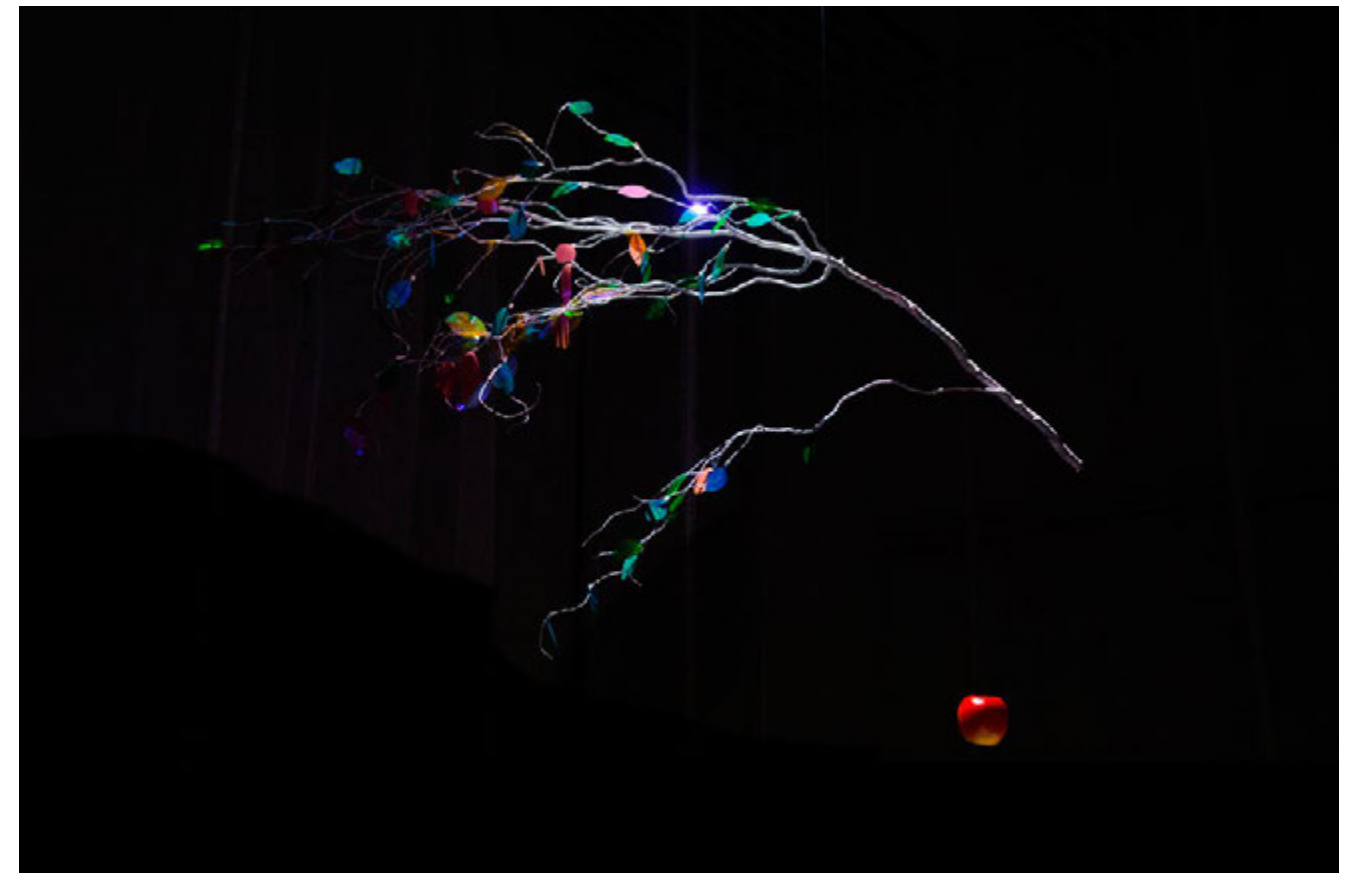


「Little Drop (f-apple01)」

インタラクティブメディア学科 浅野耕平 Kohei Asano



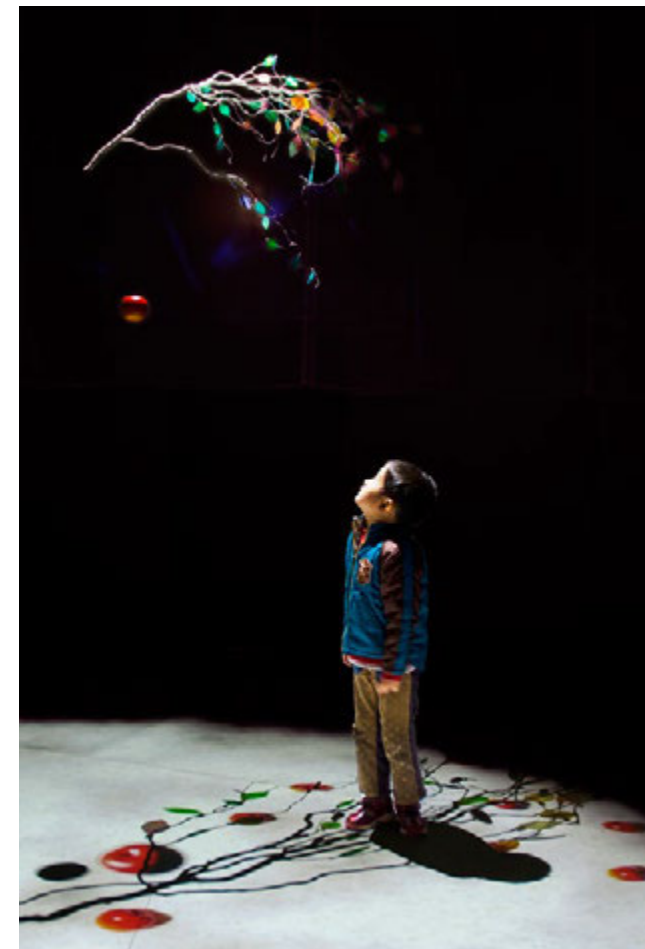
本作品は、体験型現代美術スペースアート展（浜田市世界子ども美術館 / 島根県 2016）に出展した「Drop」を小型化し再構成したもので、同会場で展示したインスタレーション版では、作品中央に設置したモビールの下を人が通過すると、リンゴの実が落ちる映像がプロジェクションによって次々と現れ、映像と影、更にフィルム状の葉を透過した色鮮やかな光、これら現実と虚像が入り交じった体験型の空間演出を行った。未就学児が多いという会場の特性を考慮し、動きや現象の質感表現に重点を置きながら、落下という身近な現象から、体験者が自由に遊びを発見したり、現象そのものに興味をもったり、体験者通しのコミュニケーションが生まれたりするような空間創りを意図して制作を行った。



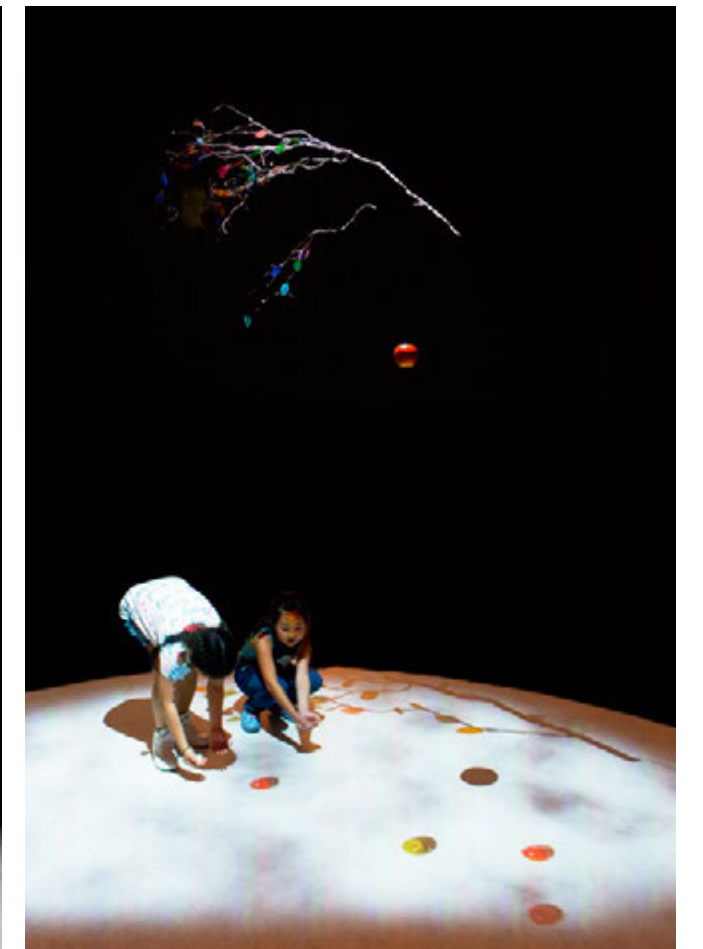
インスタレーション版 モビール



インタラクティブアートを専門とし、第4回ソウル国際メディアアートビエンナーレ、アルスエレクトロニカセンター常設展示（2009-2010）、六本木アートナイト 2010、魔法の美術館（2010-2012）、浜田市世界子ども美術館（2013-2018）などの出展の他、学生と共に「動くアート展」（福島市 2013-2016）、「不思議なマルシェ」（北海道当別町、新篠津村 2018）他、展覧会等を多数開催。



リンゴの映像と影とフィルムを透過した光



リンゴをすくい取ろうとする子どもたち